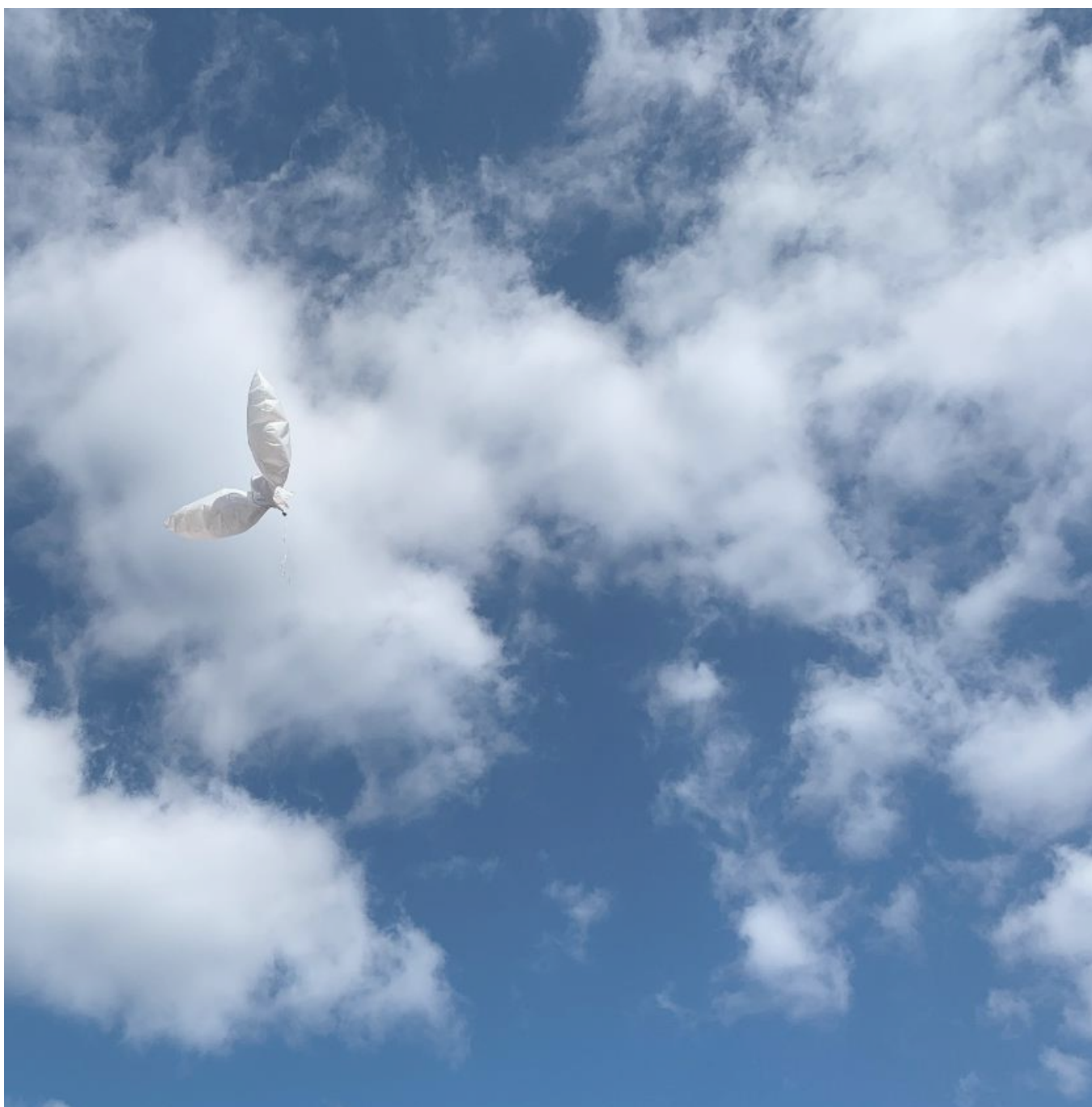


令和2年度 青少年ピースフォーラム 報告書



## 1 概要

全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年のみなさんと長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで平和意識の高揚を図る目的で平成5年度から長崎市が実施しており、平成31年度から、公益財団法人 長崎平和推進協会が長崎市からの委託を受け実施しています。

青少年ピースフォーラムの主な企画及び当日の進行は、長崎市の青少年ピースボランティアが担います。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの開催となりました。

また、長崎で資料や被爆建造物等を直に見て学ぶことができなかった参加者に向けて、フォーラムで行っているフィールドワークやPR動画を制作しました。

## 2 オンライン青少年ピースフォーラムについて

✓ 日時：令和2年11月28日（土）13：30～17：00

✓ 参加人数：全国7自治体（長崎市含む）から29名

	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	計
自治体派遣の参加者（人）		5	11	2		18
青少年ピースボランティア（人）			1	6	4	11
合計（人）		5	12	8	14	29

都道府県	自治体名	参加人数
千葉県	浦安市	1名
東京都	港区	2名
東京都	武蔵野市	3名
京都府	福知山市	4名
福岡県	北九州市	1名
沖縄県	北谷町	7名
長崎県	長崎市	11名

✓ 当日プログラム

	時間	内容
第1部 13:30~14:30	13:30~	開会あいさつ、原爆資料館長あいさつ
	13:32~	被爆体験講話（質疑応答含む）
	14:30~	休憩
第2部 14:50~17:00	15:00~	自己紹介、アイスブレイク
	15:15~	被爆の実相についての説明
	15:35~	休憩
	15:50~	意見交換
	16:35~	各グループの意見を共有
	16:55~	閉会あいさつ
	17:00	終了



講話者：池田道明さん

（被爆当時6歳）

長崎医科大学附属医院（爆心地から約700m）で友人「シゲちゃん」と遊んでいた時に被爆。一人で金比羅山まで逃げ延び、一夜を明かす。

## 第1部 被爆体験講話

司会進行：山野 湧水（ピースボランティア）

### 参加者の感想

- 原爆が紛れもない事実であることを再認識し、その事実が池田さんの中でいかに大きな出来事として存在しているかを感じた。それでもなお、平和の為に講話をしてくださる想いを伝えていかなければいけないと感じた。
- 原爆や戦争などは、「人の心」なども変えてしまうところがとても恐ろしいと感じた。
- 衝撃でした。悲しい気持ち、戦争になってはならない、改めて強く思った。お話しいただいた池田さんや、そのご家族は大変な思いをされ、お話に出てきた恩人のシゲちゃん、そのご家族等々、自分の中で形容する言葉が見つからなかった。



## 第2部 学習/意見交換

司会進行：三宅 杏風、山田 聖華

## 被爆の実相学習

発表：近藤拓人（ピースボランティア）

長崎原爆についての基本情報や、被災状況、被害の概要、核兵器をめぐる現状について発表しました。

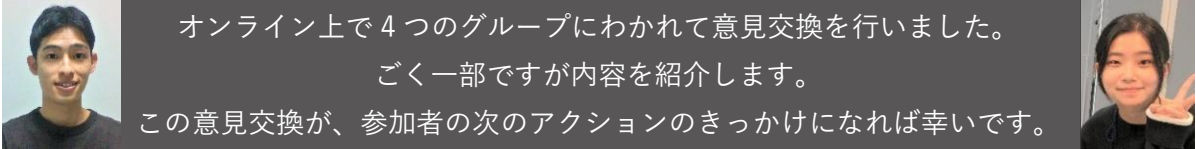


オンラインで初対面。  
緊張をほぐすため  
ゲームをしました。



### 参加者の感想

- 以前「青少年ピースフォーラム」に参加した子ども達でも緊張していたので、アイスブレイクは必要と感じる。緊張がほぐれとてもいいと思った。
- アイスブレイクは初めての経験で楽しかった。
- 長崎原爆についての説明は、簡潔でわかりやすいものだった。  
ただ、実相を知るには、もう少し詳しく情報があるとより深い理解ができたと思う。
- 過去に長崎についていろいろ調べたことがあったが、記憶が薄れていたなので、資料を見て、思い出すことができた。



## Part 1 平和活動を始めたきっかけ／なぜフォーラムに参加したのか

意見交換前の自己紹介も兼ねて、住んでいる地域や環境、バックボンの違う参加者それぞれのはじめたきっかけを共有しました。

- ニュースなどを見ていて、国や地域によって原爆の受け止め方が違うと感じ、長崎の人の意見を聞いてみたいと思ったから。
- ひいおじいちゃんが地上戦で亡くなり身近だったため興味をもった。
- 色々な活動に参加するうちに、周囲の友人が戦争について知らないことを実感したから。

## Part 2 平和とはどんな状態か。

目的意識を持つことは、これから何か始めたい参加者にとっても、数年間活動してきた参加者にとっても大切なことだと思います。活動する上で何を目指しているのか、現時点での各自のビジョンを明確にしたいという思いからこのテーマを設定しました。

「核兵器のない、戦争のない世界」の他、身近な生活での幸福感、教育、政治など様々な切り口から意見が出ました。フォーラムの2か月後に発効を控えていた核兵器禁止条約も話題に上りました。

- 家族や身の回りの「平穏」が乱されないことが平和に近いのではないかと。
- 全世界の人の生活環境が整っていること。SDGsを確立した社会。
- 自分の考えを他人に伝えられる。相手を否定せず、相手に否定されない状態。



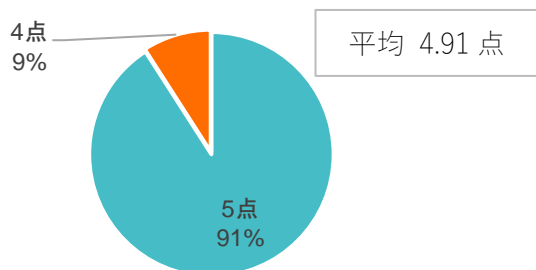
## Part 3 そのために何をすべきか、自分たちに何ができるか

自分たちが住む場所で、それぞれに何ができるのか考えたい。このフォーラムだけで終わるのではなく、今後に繋げていけるようにという意図で設定したテーマです。Part 2 で出たそれぞれの考える平和な状態を、守り、実現するには何ができるか意見を交わしました。

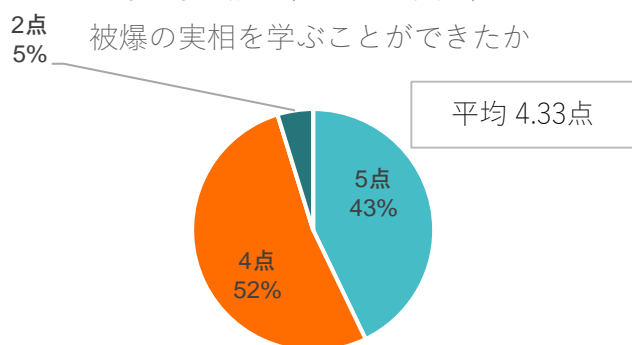
- 政治家にとって得票数の多い「ターゲット層」となるべく、投票に行き政治に参加する。
- 次の世代へ繋ぐには、今の世代が歴史や現状を学ぶ必要がある。昔から繋がれてきたバトンを、自分たちが学び深化させ、次の世代へ伝えていく。
- 一人一人が互いに寛容であり歩み寄る努力をする。
- 自分自身のことを尊重し、その上で相手の文化や人柄を理解する。
- 平和に対する地域間の意識の乖離を埋めるため、一時的でない継続的な学びの機会を作る。

### 3 オンラインフォーラム終了後アンケート結果

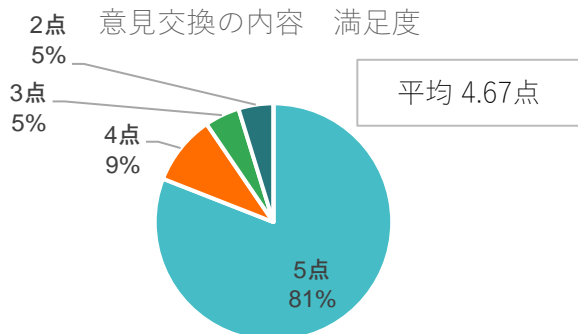
被爆体験講話 満足度



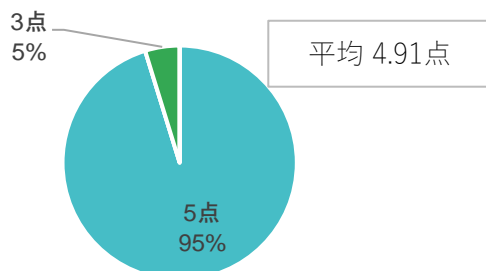
長崎原爆の説明(スライド資料)から  
被爆の実相を学ぶことができたか



意見交換の内容 満足度



フォーラム全体 満足度



※回答者 24 名 (聴講職員含む)  
未回答項目はデータ集計に含まず。

左記項目は 5 段階評価

1 点 (悪い) ←→ 5 点 (良い)

#### 感想・ご意見 (抜粋)

##### 【意見交換の内容・進行】

- 様々な地域でそれぞれの平和教育を受けてきた人たちと話し合うことができたため、平和実現のための考えを相互に確認し意識を高め合うことができた。
- 明るく話しやすい方が多くて、自分の意見も言うことができたし、周りの人の話を聞くことによってより意見を深めることができた。
- 少し時間が足りなかった。
- 意見がすぐに出ないこともあると思うので、前もって意見を聞いておくべきだと思う。フォーラム参加前と参加後で意見が変わったとしたらそれも面白い発見につながるかもしれない。

##### 【全体に関すること】

- もっと多くの人々が参加できるようにしたい。
- 今度は皆さんに実際に会って、コミュニケーションをしてみたい。
- 参加者がその場を訪れ、その現実と直接、接することは大きな意義があると思いますので、現地派遣をぜひ実施してほしい。
- 8月のピースフォーラムが開催されたとしても、また別にオンライン等を活用し、このような機会が設けられるとさらに良い。
- 来年はコロナがどうなっているかわからないが、ぜひこの活動を続けてほしい。

## フォーラム動画を制作しました どこでも長崎を体験できます

新型コロナウイルスの影響で移動の自粛が続く中、場所を問わず長崎の被爆建造物等を学べるよう、例年青少年ピースフォーラムで行っていたフィールドワークの、各コースのダイジェスト動画およびフォーラム PR 動画を制作しました。



撮影協力：大城華乃、小川由姫、津田茉莉子、中島麗奈、山下豊（ピースボランティア）

撮影した動画は、当協会 Youtube チャンネルにて公開しています。

長崎原爆に関する導入学習や振り返り、コース選定の参考として是非ご活用ください。

### 【動画一覧】

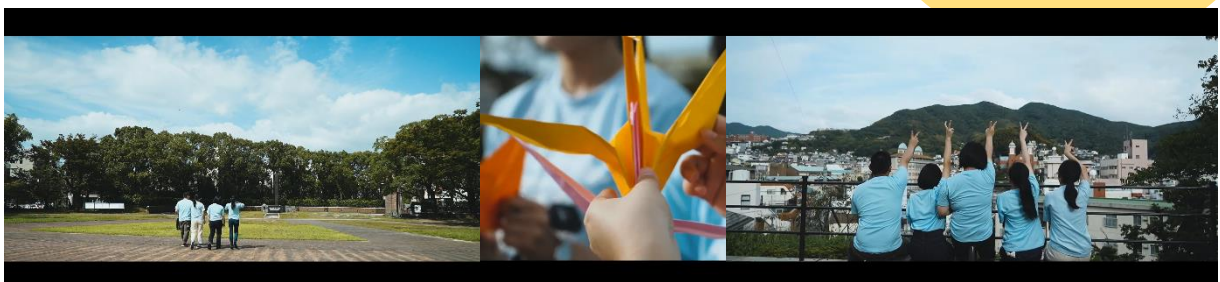
#### 1 青少年ピースフォーラム紹介ムービー

<フィールドワーク>

- 2 平和公園コース
- 3 浦上天主堂コース ※平和公園コースと重複する箇所がございます。
- 4 山王神社コース
- 5 原爆資料館周辺コース



再生リストは  
こちらから ↑↑  
チャンネル登録も  
お願いします。





長崎平和推進協会

YouTube



Instagram



PEACE.WING0809



長崎市

長崎市の平和・原爆

Facebook



令和2年度  
青少年ピースフォーラム 報告書

発行 公益財団法人 長崎平和推進協会  
所在地 〒852-8117  
長崎市平野町7番8号  
電話番号 095-844-9922  
FAX 095-844-9961  
Eメール keishou@peace-wing-n.or.jp